

まき

今年の生活目標

機は熟している

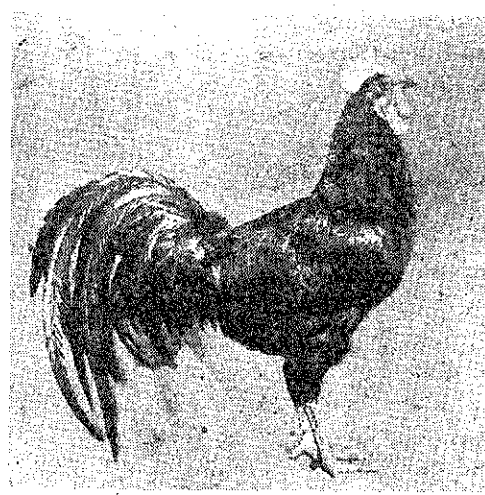
新正月の實施

毎年のことながら、年の始めに「今年こそは」と一ケ年の生活目標をたててはみるのだが、いつもかけ声だけに終つてきたようです。一九五七年こそ巻町共通の生活目標を打樹て、努力したから実行出来ないものでしょうか。新正月の問題にしても既に機は熟していたようですし、時間勵行のこと、結婚式の改善などいろいろあるかと思ひますが一番身近なしかも実現可能なものから始めたらどうかと思ひます。一ケ年の生活目標を樹てるとしたら貴方はどんな問題をお選びになりますか。

発行所
西 巻 郡
巻 町 公 民 館
編集人 北川 郡 司
印刷所 北洋印刷株式会社

著林 千代 葉萱場
一、集会時の時間厳守
二、今年から正月は新に切りかえること。
三、各団体の一人一人の協力をもう少し高める。
四、旧巻町の西、東の堀にゴミを捨てるのを各自がよく考へて捨てないようにする
五、旧巻の下町方面の日用語をもう少し改める必要がある。
感想 新正月について私達部落は今年から町の方にまわらず実

行するよう申合せし三、農村の生活改善。
ました。
野沢 ミヨ 柿島
一、時間厳守。
二、集会の出席をよくしたい。
感想 予定した時間がきたらきちんと始める。終る時間も同様にきまりのよい集まりにしたい。こうしたことは婦人会の理事会から守つて行きたい。
石山 君江 仁箇
一、新正月の實現。
二、結婚改善。



四、婦人の地位向上。
五、時間厳守。
感想 何より一番身近に守らなければならぬのは時間厳守だと思ひます。皆んなで団結して待ちぼうけをくわせないように心がけましょう。さいわい最近婦人会員も一歩ずつ向上しつつありますのをうれしく思つています
河村 マス 松山
一、封建性の打破。
二、新しい婚礼。
三、助け合いの運動。
四、蚊やハエの駆除。
五、新生活運動。
感想 何事によらず目標に向つてかけ声だけに終らず、実行に移してゆきたいと思ひます。
土田 シゲ 河井
一、時間厳守。

一、新正月の實行(新巻町全部)
二、病氣見舞の返礼廃止。
三、祭だんごの持廻り廃止。
四、お産祝いは初産だけにしたい。
感想 是非実行に移したい婦人会だけでなく町でも廻覧板などで協力して貰ひ、かけ声だけで終らぬよう御協力願ひます。
山本タケノ 松野尾
一、会議はなるべく皆の出やすい時間に、

二、結婚式の改善。
三、新正月の實施。
感想 結婚式は「時肴」程度に出来ないか新正月は来年から巻町一勢に實施したい
中野 ヨシ 巻
一、新正月の勵行。
二、田植資金の統一。
三、結婚式の簡素化。
四、病氣見舞返礼の廃止。
五、公衆道徳心の高揚
感想 昨年巻中学校で西蒲、燕の母親と女教師の会が盛大に舉行されました折、痛感したことですが閉会後の会場と手洗場を見て呆然としました。子供達の幸福を願う人達の集まりの場としてだけに。
中村 トワ 巻
一、新正月の實行(新巻町全部)
二、病氣見舞の返礼廃止。
三、祭だんごの持廻り廃止。
四、お産祝いは初産だけにしたい。
感想 是非実行に移したい婦人会だけでなく町でも廻覧板などで協力して貰ひ、かけ声だけで終らぬよう御協力願ひます。
山本タケノ 松野尾
一、会議はなるべく皆の出やすい時間に、

一、時間の厳守。
二、新正月に統一。
三、冠婚葬祭の簡素化
四、衛生思想の普及。
五、出産、病氣見舞等のおかえしの廃止。
感想 会合の時間は固く守りたいと思ひます。まずまず婦人集會等が多くなる折柄一人一人の遅刻が大損失となる。所謂巻時間

無駄話を長くしない
二、青年の意見をよく聞いてやる。
三、結婚式問題は青年団との話合で早く改善してゆきたい。
四、公民館で早く結婚衣裳をそなりたい。
五、結婚式はすべて公民館結婚にもつてゆきたい。
感想 正月も学生のこなど考えると大変不都合な点もありますが私共の村では、まだまだ新正月の出来な点も数々あります。何んでも町中心に考へてもうまくゆかないと思ひます。
中川 直子 巻
一、新正月の強調。
二、冠婚葬祭は心からの改善でありたい。
感想 新正月の強調は特に商工会の協力を望む(新旧の大売出しの考慮)
佐野アサノ 巻
一、時間の厳守。
二、新正月に統一。
三、冠婚葬祭の簡素化
四、衛生思想の普及。
五、出産、病氣見舞等のおかえしの廃止。
感想 会合の時間は固く守りたいと思ひます。まずまず婦人集會等が多くなる折柄一人一人の遅刻が大損失となる。所謂巻時間

はあくまでも是正してゆきたい。
巻沼 ハル 巻
一、一月正月。
感想 教育的見地と清新な気分から生活の簡素化からは非現実的だと思ひます。現したいと思ひますが、然し正月は無理に着かざつたお祭りに騒ぎ復活を恐れます。あくまで心の新たに、くつろぎの日であらせたいと願ひます。
無 名 角海
新正月統一や国旗掲揚の問題はたいした困難なことではないと思ひます。どこの部落もそうだが婦人集會が婦人会そのものの認識と自覚がたりない。殊に中心地たる巻町にして婦人の存在すら知らない連中すらある。生活改善とくるとすぐ冠婚葬祭とくる。これも言うべくして実現困難だ。何んとなれば人情の自然に逆行するからだ。百年黄河のすむを待つようなものだ。忙しい農家には有閑マダムはいないはずだ。それにもかかわらず今日も出てこい明日も出てこいと手弁当自腹、パス代まで自弁と来ては誰もいやがつて出ていかなのはあたりまいです。

公民館に行くとく度、目につくのは窓際で、冬の鉢で、冬々とした感を受けることがある。小さな金魚がデツと動かない。ところがストーブがよく燃えて部屋が温つて居る時など浮いたり沈んだり生々として泳ぎまわっている。誰かが置いてあるのかわらないが。私達も個々の暮らしの中に、地域の生活の中に、その何割かを寒々とした目で送つて居るガラス製の金魚鉢が教えてくれるもの。それは……社会教育関係団体として、歩を進めている地域の青年団、婦人会、PTA、産業団体等がそれぞれ目標に進みながら、社会教育の立場から、自分と共に社会を明るくする為、個々の生活を豊かなものに望む一面、個々の集まりであり、個々をよりよくするため、もつと何かあつてよいようなことを感じさせられる。温さの中に小さな金魚は、底の岩や小石をつまぎながら、今日も生々として動いている。



成人おめでとう

成人への門出を祝して

今日、ハタチの朝を迎えられたみなさん、成人おめでとうございませう。巻五九名の輝ける成人への門出を祝福申し上げます。今日この式場より堂々大手を振って、人生街道に出発されるようお祈り申し上げます。

式辞

合併後第三回目の成人式を迎えました。巻五九名の成人の皆さんに心からお祝ひを申し上げます。二十歳の春をむかえられた皆さんは、肉体的に激刺として見るからに元気に溢れ、精神的にも、正しい物事の判断と明るさと真理を求めてやまぬ熱意が伺われたいですねども、此の

生気と熱意が正しい社会人として他人にも敬れ、よろこばれる人となり、又親しみと朗らかなさを持つたよき家庭の一員として、しかも勇敢に世に処して頂言も度々式辞といいたします。

若人の期待

倉品 克一郎

あつて、東京や北海道のように各県人の集まっている所で活躍している、指導的立場の新潟県出身者が極めて多し、事だとして理由のある事だとして認めています。しかし反面県民性に對する批判も少くありません。県の教育委員や人事委員を勤めてお



はたちのところ

青年は理想の追求に激しく、老年は、さまざまの経験の中から追憶に耽れる。中年は何を愛し、何を慕ふべきか、時折思ふことがある。はたちの思い出を語る

（新潟県教育委員）

来入隊し、中支那、高田、朝鮮と転々三年十月、一年中、白衣食生活を過し、戦争という命を張り込む仕事は避けねばならぬことである。青年団も团长は村長で、実際は支部長中心として、部落内活動で、道路普請、海岸砂防の植林等、今から比較すれば低調で他部落青年との交流は殆んどなかった。当時役員は末席にあつたが、青年団運動とは何かなと考へてみた。その青年団に改編されたの聞いたが、軍隊に在つたので、残念ながらわかない。

私のはたち時代

大島 秀一

今の言葉で申しますと、私のはたちは、今から約四十年前の事でありました。次男であつた私は、青雲の志も成し難く、十八才の頃、無断で上京したことがあつたのです。その頃の私は昔は高い方でしたが、やせて居つて余り丈夫の方ではなかつたのですが、まだ健在

はたちの日記から

富山 靖之

目覚し時計の音で目が覚めた。午前二時である。すぐコタツから出て眠り足りない目をこすりながら調理室へ行く。

はたちの思い出

田中 高次

私は明治三十九年（丙午）に生まれた。母はいつも「お前が男でよかった」とよろこんでいた。十九の年に髪を伸ばした。ところが生れつきのちもれ毛がある。これを見た母は女でなかつたことを一層喜んだ。

成人式次第

一月十五日午前十一時 巻町立巻小学校

- 一、はじめのことば
- 二、式辞
- 三、宣誓
- 四、祝辞
- 五、答辞
- 六、おわりのことば

レクリエーション

- 舞踊 タンプリン 峰岡中学校
- 合唱 山本久美子 桑原智恵子
- 合奏 若いおぢさん もみじ
- 舞踊 巻小学校四、五、六年有志
- 合唱 野菊の夢 松浜中学校
- 舞踊 堀川 綾子 山本 よし
- 合唱 山田みゆき 柳沢 ヒデ
- 舞踊 高橋タケ子
- 合唱 旅の越後獅子 漆山小学校
- 舞踊 亀山千代子 伊藤トミ子
- 合唱 お江戸日本橋 荒城の月
- 合奏 故郷を離るゝ歌
- 舞踊 竹野町コーラスグループ

であつた両親が大変心配して、徴兵検査まで間もあることだし内へ帰つて少し様子を見るようにと、すゝめられやむなく帰郷、両親のもとに、当時居つた二、三人の弟子達と一緒に父の激励を受けて上京致しましたが、私の第一歩を踏み出した訳です。併し幸運にも今日こうしておられまするも郷土の皆様方の絶大な御鞭撻の賜と深く喜んでおります。

午前三時四十分湯タンポの入れかえ終了、二階四号室で一羽眠れず鳴いていたと書き記して、オーパリーをかぶりゴロリと横になる。もう、午前四時を過ぎていた。朝の当番は〇君だ、ぐつすり眠ろう。

新旧二つの正月

都会では、いや隣りの吉田町でも正月気分もそろそろ——というのに、この町ではこれから迎える人がほとんどのようです。婦人会、青年団、PTAなど正月一本化運動を起して来たが、一向に実効は上らない。

司会 今年もとうとう新正月が出来なかつたが、しかし学校ではPTAの会合で新旧二つあることが教育上困るといつていた。

樋口 巻でも十二月中旬に直接それとは違

うが新生活の面で会合を持つ予定だつたが、とうとう開けなかつた。岩室村では十月に新正月の会議を持つたそうだが、それでも遅かつたといつていた。

齋藤 やはりそういう会議は益前でないと思目だ巻では旧正月をやつている来月から始めたかどうか。最初から新正月だと決めつけるのではなしに益頃までは啓蒙する。

樋口 たしか教育の面では困るだろうな。
齋藤 工場通いは五時か六時に食べるものうし家にいるものは正月だから九時頃に

なる。朝二回雑煮を煮るのは二、三男は気の毒だ。
樋口 婦人会でも大部分の地区で新正月を望んでいた。出稼の人たちは新正月が実施されれば帰ると思う。たゞ松野尾地区

や福井あたりは雪が降るまで山仕事や葉煙草の収納で問題があると思う。
齋藤 しかし二月にどういう仕事があるかが問題ですね。
樋口 商人はどうだろう。

齋藤 商工会の意見ですが、一月正月をやらないと新潟にみんな客をとられるから新正月をやつて二月には初午の売出しでも出来るといつてい

出来るのではないかと。私、大変申し訳ないような気がしましたね。
司会 いろいろお話を

も出来るといつている。公民館の新正月の気運醸成の活動が一般の認識と近ずき旗をかかげればもう

岩室の例もあるし、新正月を実施するなら来月からでも各種団体や地域とよく連絡をとつて事を進めて行かねばならないと思ふ。
齋藤 順作、樋口弘雄

この間高畑(岩室村)へ行つたら、あそこは新正月なんだが経済圏が巻だからと依然として旧正月



角海

おなじ寒村ながら、た後退し、それに漁撈、塩たくましい生活力をひめた五き、魚灯油搾りなどの生業ケ浜とくらべて、わずか距では、とうてい暮してゆけてた角海は、すべてがひつぬまに、売菜、大工などそりとおちついたたはずまの出稼にたよつてきたが、いをみせて、狭い畑に生え時代毎に民家は減つて、今めぐらされたヤガラが潮風はわづかに三十戸ばかり、に鳴りつづけている。竹林や炭焼で山に入る人たちのぞけば、大方は留守居の年寄りばかりで、正月でも出稼の若連中や娘たちをむかえる賑いもなくなつた。

だがそれだけに、気の合

新年雑詠

竹野 福峰

元日やわが靴磨き置かれたり
初鶏の声渡りゆく町田舎
買初に吾子の意のまき街めぐる
晴れやかに吾子抱き上げお元日
初風呂の吾子をタオルでしかと抱く
透明に女体しづめしお初風呂
なつかしき人と酔ひたし松の内
松三日過ぎて平常勤務の日

町の茶の間で

違つて

私達二十一才になつた者です。昔なら兵隊と一週間も考えました検査とか言つて元旦に意義ある同級会をしました「すし」を取る心算でしたが休業で取れなくなり会計が四百円あまりました。

一同あれや、これや



つた老人ばかりが、漬物や煮しめをつまみながら、茶のみ話に余生をたのしんでいるさまは、どこでもみられぬ情味にあふれている。

原稿募集

町民の声 随筆・小品
文 短歌・詩 俳句
其の他
応募原稿は原稿用紙を使用して下さい
宛先 公民館 弘報部